

# THE KOBECOCO '91 3

MARCH No.359 月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

1991年3月1日印刷 通巻359号

1991年3月1日発行 毎月1回1日発行



●30周年記念 小磯良平  
名作シリーズⅢ

スポーティブ・エレガンス、咲く。

3月3日、New Shop「スポルト」、OPEN!

春、うららかな風によって、  
BENIYAの新しいコンセプトブティック  
「スポルト」がオープン。  
知的で行動派の女性に、  
さわやかなライフスタイルを提案します。  
ゴルフを中心にさまざまな  
スポーツファッションの素敵情報を発信。  
これからもどんどん楽しくなる  
「スポルト」に、ご期待ください。

神戸・三宮センター街に

**BG** 店がOPENしました。

ページェー

 **BENIYA**

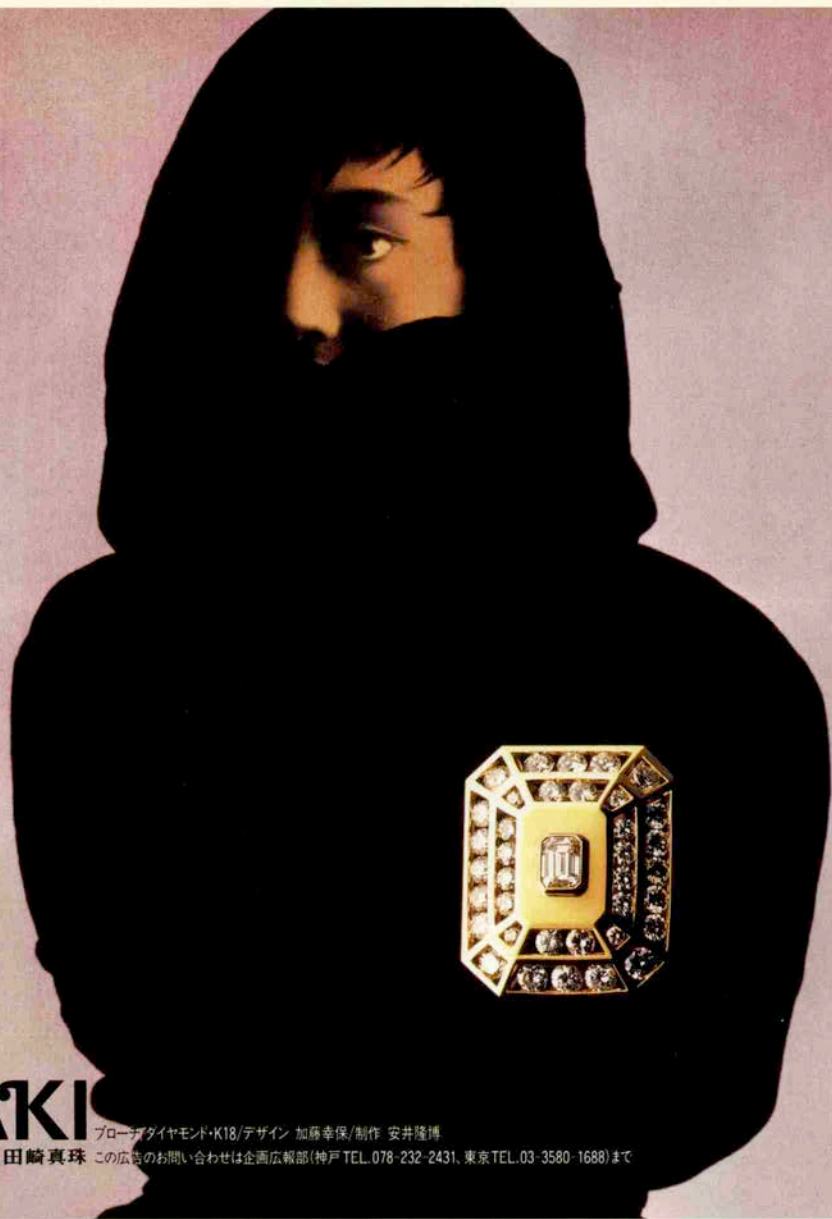
KOBE OSAKA TOKYO

KOBE ● 本店 ● エルベ店 ● ページェー店 ● ウイング店 ● さんちか店  
● スポルト店 ● イウ・サンローラン店 ● 西神ブレンティ店  
OSAKA ● 三番街店 ● ナビオ店 ● ミナミ店 ● 近鉄店  
TOKYO ● 銀座店 ● 自由ヶ丘店 ● 日比谷店

Christian Dior



真理さんの、愛の源泉。



**TASAKI**

ブローチダイヤモンド・K18/デザイン 加藤幸保/制作 安井隆博

宝石たちの新世界。  **田崎真珠** この広告のお問い合わせは企画広報部(神戸TEL.078-232-2431、東京TEL.03-3580-1688)まで

江黒真理



第9期講座

美術・工芸

- 絵画／中西勝（二紀会常任理事）
- 陶芸／稲荷作（備前焼・作陶家）

語学

- 英会話（入門・初級）

音楽

- フルート／山腰直弘（日本フルート協会常任理事）
- フルートグループブレスン ● シャンソン

スポーツ

- ジャズダンス／榛名由梨（元宝塚歌劇団）
- リズムシェイプアップ ● ヨガ

趣味・教養

- 着物の着付とマナー ● 演劇（解説・観劇）

● 一日講座

どなたでも、お気軽にご参加いただける一日講座。  
ホテルレストランの料理人がお教える料理  
講座をはじめ、魅力的な講座を随時開催しています。

- フラワーアレンジメント（初級・中級） ● カクテル教室

- フランス料理・中国料理・日本料理・洋菓子など

「エリオ・メンバーズ」ご入会

受講ご希望の方は、「エリオ・メンバーズ」に  
ご入会いただきます。メンバーズの皆様には、  
ホテルより数々の特典がございます。

入会金 ● 10,000円（3年間有効・税込）

グループ入会 8,000円（3名様以上に限ります。）

年会費 ● 6,000円（税別）

● 受講料は別途

音楽や語学に親しむ、スポーツを楽しむ…。あなたの時間がいきいき輝く、文化教室「エリオ」。  
この春から演劇講座を始め、新規講座が多彩に増えました。充実したカリキュラム、  
各分野第一級の講師陣…。心豊かな楽しみを、ここからお始めください。

春から、好きをやること。



新神戸オリエンタルホテル

文化教室「エリオ」事務局

〒650 神戸市中央区北野町1丁目

TEL.078-291-1121(代)

特別  
公開講座

カラーコーディネート講座

330<sup>±</sup> 1:30pm～3:30pm  
● 受講料 4,120円（税込）

講師 ● 高木美智子（カラーコーディネーター）

色彩の基礎知識を身につけていただくとともに、  
あなたに「似合う色」を見つける、カラーコーディネート講座。メイクアップに、ファッションに、色彩  
のマジックを応用して、あなたらしい装いに磨き  
をかけませんか。

「リア王」の演出を語る

46<sup>±</sup> 4:00pm～5:30pm  
● 受講料 5,150円（税込）

講師 ● 蜷川幸男（演出家）

独創的な演出で、世界的に評価の高い演出  
家・蜷川幸雄氏による講座です。今回、新神戸  
オリエンタル劇場でのシェイクスピア原作「リア  
王」の演出は、関西では初めて。今回の公演  
への熱い思いや、演出の面白さ、難しさをお話  
しいいただきます。

● 協力／プロデュース  
新神戸オリエンタル劇場



講座内容、入会金などについて、詳しくはエリオ事務局へ  
お問い合わせください。ご案内パンフレットをお送りいたします。



# 素敵な装い

## 春に集う

桃の節句。うれしい春。  
お雛さまのようなお嬢様方お二人に  
お振袖姿をご披露して頂きました。  
それぞれに個性を生かして色、柄共  
古典友禪の逸品です。

和装コーディネート

荒川 豊子

きもの & おしゃれ小物



〒656-0822 大阪府六甲市山田 3-2-26 TEL 078(822)3337

神戸市灘区山田町3-2-26 六甲KSビル  
☎ (078) 822-3337(代)



横山 修氏令嬢

真紀さん 22歳

関西学院大学商学部在学

名藤 進氏令嬢

真由美さん 21歳

スイミングダインストラクター

貞清 直美

# ISMを着る

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ専攻修了。  
安芸栄子、故岡岡隆正の各氏に師事。卒業演奏会、関西新人演奏会、兵庫県大学新人演奏会に出演の他、オペラ「スイガロの結婚」ではケルビーノを演じた。

国民文化祭ひょうご'88新人コンクール入選、第4回摂津音楽祭にて金賞を受賞。

神戸市混声合唱団所属

新神戸店 / 078-222-3637

〒650 神戸市中央区加納町2-1-15

神戸北野店 / 078-222-2818

〒650 神戸市中央区山本通2-9-17

神戸岡本店 / 078-431-1692

〒658 神戸市東灘区岡本1-4-10

芦屋店 / 0797-34-2060

〒659 芦屋市大原町28番1号バルティ 芦屋

仁川店 / 0798-51-1972

〒662 西宮市仁川町2-4-13ペパード仁川1F

神戸垂水店 / 078-706-1558

〒655 神戸市垂水区神田町2-9-2林ビル1F

明石南店 / 078-913-8131

〒673 明石市大町1-6-22明石オアス3F

加古川店 / 0794-27-1431

〒675 加古川市加古川町21-8

姫路駅南店 / 0792-22-3351

〒670 姫路市駅前100ホテルサンガーデン姫路1F

京都北山店 / 075-711-8558

〒606 京都市左京区下鴨家路5-9INING23-1F

福岡天神店 / 092-731-5610

〒810 福岡市中央区天神2-7-18



匠の心を紡ぐ

株式会社ISM

神戸市中央区布引町1-1-10

☎(078)222-3641



イッシュ・メゾン/ワンピース/49,000円

撮影協力/コムシノワ



Second Cover ● 街の風景(12)



永田家具の店 (1991) 絵 / 西村 功

# THE KOBECCHO

月刊神戸っ子

30周年記念パーティ

世界の

●第20回

ブルーメール賞表彰式

●'91神戸酒徒番附表彰式

酒祭り



'91

4

月

4

日(木) PM5:30受付 PM6:00開宴

●ゲスト

ミュージシャン

由紀さおり

●恒例お楽しみチャリティ福引大会

●月刊神戸っ子サンバチームViVaサンバ

●神戸ポートピアホテル

大輪田の間(南館) ☎(078)302-1111

●会員券 ￥15,000

〈神戸っ子倶楽部会員／￥14,000〉

主催／月刊神戸っ子 ☎078(331)2246

■後援・神戸百店会

協賛  SOGO  
SANNOMIYA KOBÉ

F 078(331)2795  
X



## kansin street gallery <25>



生田新道に面したストリートギャラリー

### 伊藤悦子<画家>

いとう・えつこ、神戸市在住。

古い物への思いと新しい物への憧れを一枚の絵の中に収める。それが伊藤さんの目標だ。あちらこちらでイメージを吸収し、その表現の際、「明るく幸せを伝えたい。その為に飛翔をテーマとしたいですね。」と語る。



■新生“かんしん”は、企業理念も共感・対話・信頼をキーワードに、地域の人々と共感の輪が広がる「ときめきバンク」をめざして“豊かな暮らしの提案”と“地域文化の育成”を二大テーマとし、文化面にも貢献してゆきたいと念願しております。

本年の「かんしんストリートギャラリー」は、神戸二紀会の女流画家の方々に登場していただき、華やかな展開をくりひろげてゆきます。



関西信用金庫

神戸市中央区下山手通 2 丁目12-3 〒650  
PHONE (078) 332-5151(Fax) (078) 333-9874

輝きの奥に秘めた光と影



*Tajima*  
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表





1st

Kobeco

第1回神戸っ子賞



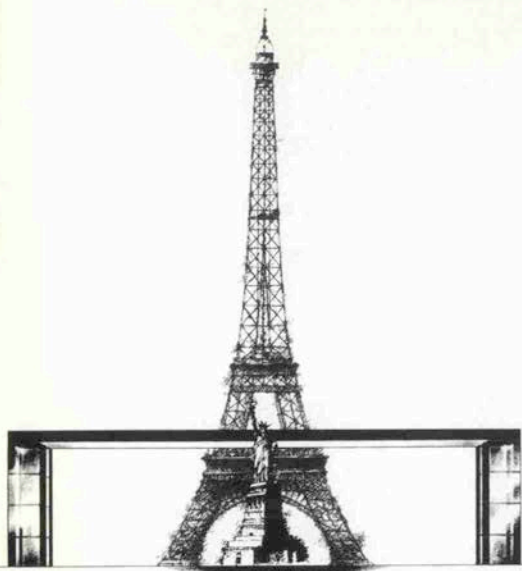
〈30周年記念特別賞〉

# ハイカラ神戸が生んだ日本一の映画評論 淀川長治

（映画評論家）

カメラ・池田 年夫

昨年の日経エンターテインメントが、業界人が選ぶ映画評論家ベスト10を、映画業界のプロである監督からプロデューサー、邦画、洋画の宣伝担当65人にアンケート。観客を呼べる評論家のNo.1、内容がいい評論家のNo.1に淀川長治氏が選ばれ、「映画の先生」淀川氏こそ理想の評論家として名実ともに日本一。映画業界が絶大な信頼を寄せる。兵庫・柳原生れ。『淀川』のボンボンが、母親の胎内にいるときから映像を見たというシネマっ子。神戸三中時代にも「私が狂気をもつてすすめたステラ・ダラスを三人の教師が新開地にまで見に行き、感激のあまり全生徒が見ました」と。映画は「生命の美と鞭」。84才だが若い。



1991——世界との交流のシンボル、日仏友好のモニュメント。  
空へのびる「自由の女神像」や「エッフェル塔」のデザインに対して、「日仏友好のモニュメント」はコミュニケーションを表わす横への広がり象徴しています。  
(高さ80m、幅30m、全長305m)  
(兵庫県)

経済界、文化団体、行政関係者ら約600人の参加した会場では、淡路島に建設されるモニュメントの愛称募集の審査結果が発表された。応募総数338作品の中から、芦屋市・喜多高弘さんの「アルク21」が選ばれた。

大きなアーチの形をした「淡路：回帰線の庭」(正式名称)は、「世界に広がる「交流—コミュニケーションの門」」をコンセプトとしている。アルクはフランス語で「門」の意味。日本語の「歩く」と合わせ、「21世紀を歩き、21世紀を代表する素晴らしいアーチ」との願いが込められている。



日仏友好国際シンポジウムが、2月13日神戸国際会議場で開かれた。「新しいコミュニケーション文明の創造」をテーマに講演とシンポジウムが進められ、通信衛星による日仏2元生中継で行われた討論会では「文化のコミュニケーションを深める事が世界平和につながって行く」「日仏友好のモニュメントを成功させるカギはソフトである」など活発な意見交換がなされた。

日仏友好のモニュメント愛称決定！

アルク21

●ヒョウゴスナップ







20th

Blue Mer

第20回ブルーメール賞受賞者

●  
文学部門

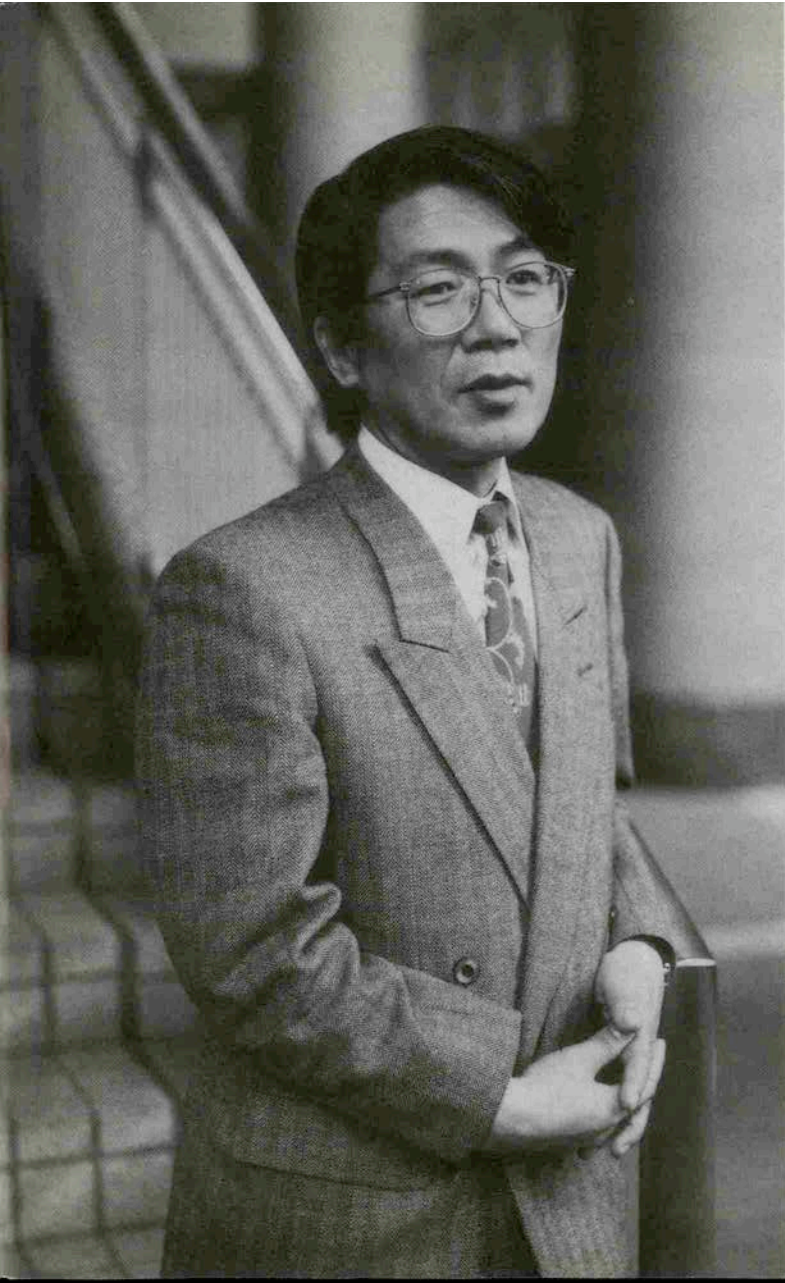
綺麗な世界を表現したい

夏巳ゆらこ (作家)

カメラ・河野裕昭

文書を書くことは小さい頃から好きだった、と言う。作家の久坂葉子さんに魅かれて、同じく作家の柏木薫さんに誘われたこともあり、多摩美術大学院在学中に「崖」に参加した。神戸を初めて訪れたのは二十歳の時、久坂葉子研究会例会に出席するためだったと言う。以来、夏巳ゆらこ名義で小説を書いて十年になる。

綺麗なものを書きたいのだそう。今回の受賞作「旅の途中」は、日本人を描きたいがために、敢えて舞台をパリに据えたのだと言う。現在横浜市在住で、神戸は、彩度が高くて、街づくりもしっかりした好きな街だ、と語り、美味しいものもあるから……と付け加えた。



20th

Blue Mer

第20回ブルーメール賞受賞者

音楽部門

共同作業によって音楽を創り出す

大前 哲

(作曲家)

カメラ・池田年夫

とにかく気さくな人である。「センス、センス」と生徒に声をかけられ、笑顔でこたえる姿から普段の先生ぶりは想像にた易い。

67年に大阪学芸（現教育）大学を卒業。相愛高等学校に勤務するかたわら、現代音楽の作曲活動を20年以上にわたって行ってきた。演奏家との共同作業によって作曲することが多く、何日間も缶詰状態になることも。「活動は続けないと意味がありません。少しずつでも発表の場所づくりをしなければ」。大きな注目を集める音楽では決してないが、昨年の「北野徹打楽器リサイタル」では大成功をおさめた。地味ながらも前向きな活動は着実に根をおろしつつある。





20th

Blue Mer

第20回ブルーメール賞受賞者

美術部門

## 石の魅力に引かれて 田中 昇

（彫刻家）

カメラ・松原卓也

六甲山を越えて車で少し走ったところに田中昇さんのアトリエがある。細いくねくねとした山道を抜けると、広場の中央に3mはある魚のような形をした花崗岩が、ロープで上から吊され、横たわっていた。「京都学芸大学時代から塑造をしていたのが、30歳を過ぎて、友人に石をやってみないかと勧められ、石をやり始めたんです。それから面白くなって、ずっと石。」と田中さん。石はおむすびの形や雲と雨、木など詩的なものと様々だ。屋外にはダイナミックな作品が無造作に置かれていた。「みんなが忘れていったものの、作り残したものをちよつと遅れて拾っていきたい」と語ってくれた。



20th

Blue Mer

第20回ブルーメール賞受賞者

ファッション部門

## 神戸洋服に新風を

柴田音吉

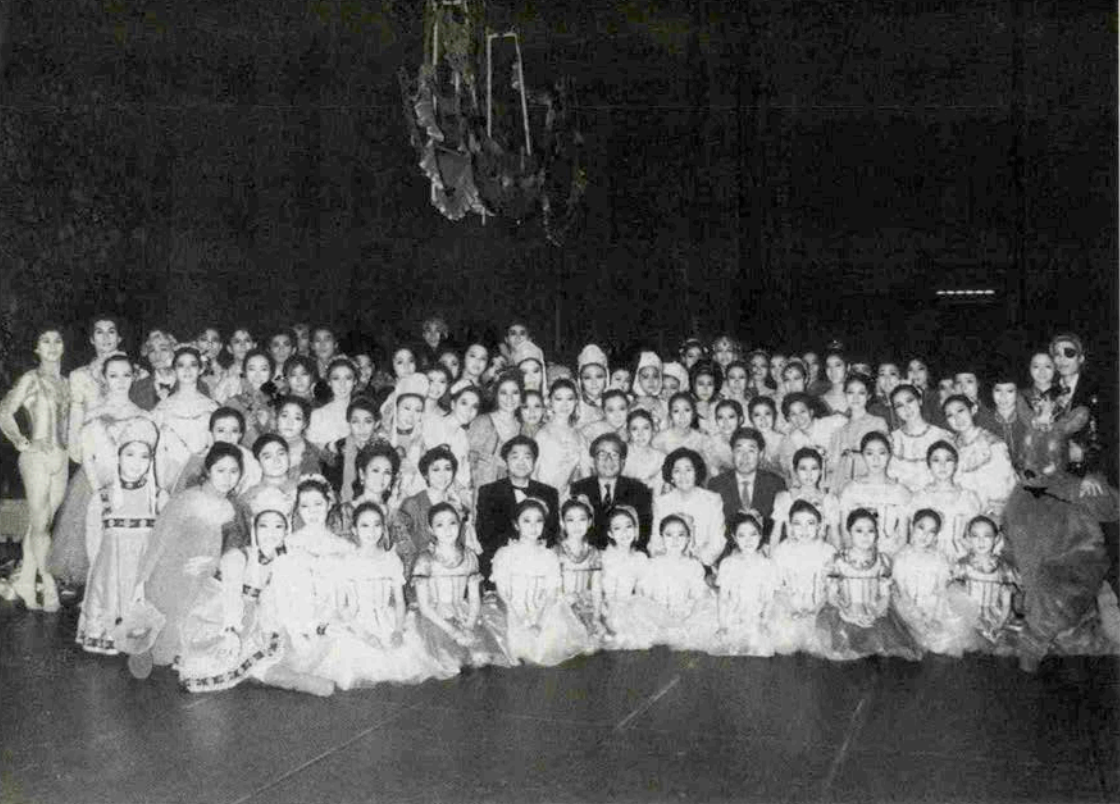
(柴田グループ代表)

カメラ・米田定蔵

世界最大の毛織物商社「ドーマル」社、日本の最高級アパレル「メルボ紳士服」と合併会社をつくり、今目覚ましく躍進する柴田グループ。又、創業107年を迎えた元町の柴田音吉洋服店では、手づくりの洋服を永遠につくり続けることがモットー。昨夏、柴田グループの代表取締役社長に就任、二代目音吉を襲名。甲南大学卒業後、25歳でロンドン留学した国際派でもある。日本では店づくりに関してはヨーロッパより素晴らしいテーラーが多いがテーラーの技術者は白黒のモーニングのストラックスに、白いシャツと蝶ネクタイ、日本と感覚が色々と違う。洋服が上陸して一世紀。神戸洋服の将来をみつめ、老舗の新しい展開に意欲的に取り組んでいる紳士服業界のリーダーである。



神戸発信、古典と創造の芸術  
貞松・浜田バレエ団  
(洋舞団)



兵庫県文化賞受賞記念新春特別公演、'88年1月。撮影／岡村昌夫

西洋の真似でなく、日本の感性を持ったバレエを作りたいと、'65年「貞松・浜田バレエ団」は貞松融を団長に結成された。“バレエを学びたい”人達の為の学園と、“バレエが人生”と言う人が集まり学園の教師で構成されるバレエ団。団員は現在25名。個人でコンクール受賞も多く、又バレエ団として'80年兵庫県教職員組合文化賞、'87年兵庫県文化賞を受賞している。

「私達は、神戸でバレエが出来る事の地盤を造って来ました。これから次世代への継承と、結実される事を願っています。賞をいただいた事を礎にがんばりたい」と貞松さんは語る。今年も7月に東京シティ・フィルの演奏でボレロの東京公演を予定している。

20th

Blue Mer

第20回ブルーメール賞受賞者

●  
舞台芸術部門